

## 1 訓練概要

- ▶ **目的** 札幌市と防災関係機関が一体となり、災害時における活動体制や情報収集伝達体制・応援者の受入体制の検証を行う訓練を実施し、災害対策本部機能の強化を図る。
- ▶ **実施状況** 年度中に2回実施。第1回目（夏期）は風水害を、第2回目（冬期）は地震災害を想定  
※令和8年度は、第1回目を令和8年7月30日（木曜日）、第2回目を令和9年1月22日（金曜日）に実施予定
- ▶ **参加機関** 札幌市、北海道開発局、札幌管区気象台、陸上自衛隊第18普通科連隊、北海道、北海道石狩振興局、北海道警察本部、指定公共機関（電気や通信の事業者）等（約800名）



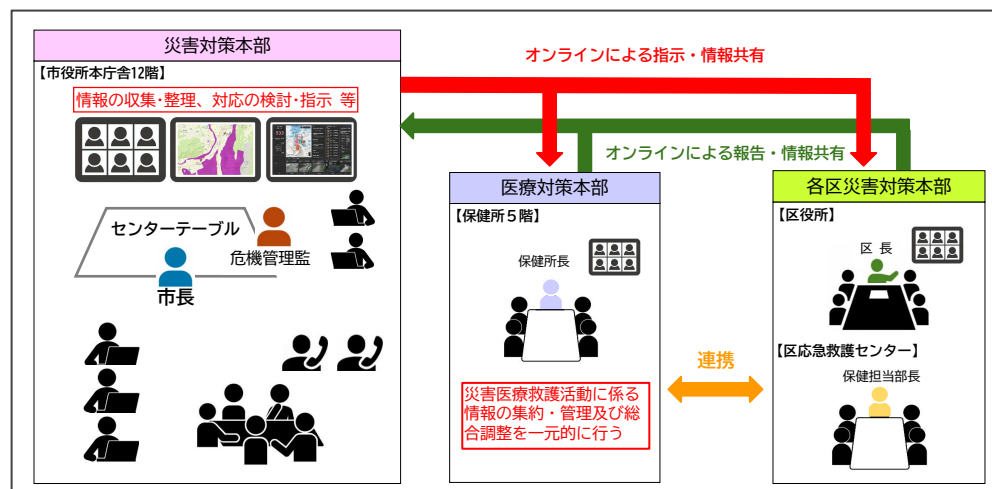
災害対策本部会議の様子  
（令和7年度第2回）



センターテーブルの様子  
（令和7年度第2回）

## 2 保健医療福祉部門との連携強化

- ▶ 近年の大規模災害では、避難生活の長期化や医療機関の被災により、要配慮者への支援が滞ることで、健康被害や生命の危険が生じた事例があり、保健医療福祉部門との緊密な連携が人命を守る上で不可欠。
- ▶ 昨年度、初めて市災害対策本部と医療対策本部が連携して訓練を実施。両本部をオンラインで接続し、医療・救護の情報を即時共有するとともに要配慮者を避難所から二次避難所へ安全に移送する流れを確認。
- ▶ 医療対策本部と区応急救護センターとの連携も確認し、オンライン会議の活用が迅速な意思決定に有効であることを確認ができた。



## 3 関係機関との連携強化

- ▶ 大規模災害時に札幌市災害対策本部が「司令塔」としての役割を果たすためには、関係機関との緊密な連携が不可欠。
- ▶ 訓練では、本部事務局職員と関係機関のリエゾンが一堂に会する調整台（スペース）を設け、活動調整を実施。
- ▶ 地震による「市内の複数箇所で発生し、被害も広範囲に及ぶ土砂災害事案」において、本部事務局職員と自衛隊、警察、消防及び北海道開発局の関係機関が、人命救助活動に必要な人員と資機材の投入、膨大な土砂で寸断された道路の重機による啓開などについて、円滑な情報共有と活動分担の調整を確認できた。



本部事務局と関係機関との情報共有の様子  
（令和7年度第2回）



調整台を活用した関係機関との情報共有の様子  
（令和7年度第2回）